

提案第 8 号

町の慣行の取り扱いについて（その 1）

町の慣行の取り扱いについて（その 1）を提出する。

平成 16 年 1 月 21 日提出

山崎町・一宮町・波賀町・千種町合併協議会



会 長 中 田 耕 一 郎

町の慣行の取り扱いについて（その 1）

- 1．市章については、合併時に定めるものとする。
- 2．市花、市木、市歌、市民憲章については、合併後、新市において定めるものとする。

平成 年 月 日確認

山崎町・一宮町・波賀町・千種町合併協議会調整方針

協定項目	13	町の慣行の取り扱いについて(その1)		専門部会	総務部会	分科会	行政分科会
項目	町制			事務事業名	町章、町花、町木、町歌、町民憲章		
調整方針	市章については、合併時に定めるものとする。 市花・市木・市歌・市民憲章については、合併後、新市において定めるものとする。						
現 況							
区分	山崎町	一宮町	波賀町	千種町	具体的調整案		
町章	<p>制定時期 昭和30年11月1日</p> <p>町章及び由来等</p>  <p>山崎町の「山」の字を表したもので全体に丸みをおびた円満な心が相寄り、中央の先端は鋭角で、未来に大きな希望を抱きながら町を美しく、住みよい豊かな理想の町に築きあげることを願いとしている。</p>	<p>制定時期 昭和41年9月6日</p> <p>町章及び由来等</p>  <p>◐ は一、◑ は宮をそれぞれ図案化したもので、さらに、◐ は広く町をとりめぐる緑豊かな森林を、◑ は豊かにして流れも清き揖保川を、全体の円形は恵まれた自然環境のもとで町民全体の協力と一致団結、円満、平和を意味し、中央の尖形は天を仰ぐ大樹の如く将来へ力強く飛躍、向上、発展を表現したものである。</p>	<p>制定時期 昭和34年10月1日</p> <p>町章及び由来等</p>  <p>◐ は波賀の波を、◑ は波賀の賀を図案化して全体で波賀をあらわし、町発展の基は和にあるとしてふちを円くかたどっている。また ◐ は引原川の清流とたなびく雲をあらわし、波賀町の自然の美しさを、◑ は山林王国波賀町の大地に根をはり天をつく樹木をあらわし、町発展の意を表している。</p>	<p>制定時期 昭和39年1月1日</p> <p>町章及び由来等</p>  <p>全体で千種の「千」を表わし、下部の円形は町民の融和と協調性を表現し、上部の翼で町の飛躍発展を象徴している。</p>	<p>市章については新市名決定後、公募により募集し、新市発足までに調整し、合併時に定める。</p>		

現 況					具体的調整案
区 分	山 崎 町	一 宮 町	波 賀 町	千 種 町	
町花	制定時期 昭和43年7月27日 さつき	制定時期 昭和47年11月2日 菊	制定時期 昭和48年10月8日 菊	制定時期 昭和55年4月12日 ドウダンツツジ	市の花、木、歌については、新市発足後、市政状況をみながら新市において定める。
町木	制定時期 昭和56年1月21日 ひのき	制定時期 昭和47年11月2日 杉	制定時期 昭和48年10月8日 楓	制定時期 昭和55年4月12日 杉	
町歌	制定時期 昭和33年8月29日  (1) おえる雲と咲きいでて 下照る花の町あかり 山の国なる山崎の 沢どおりまた谷すじを こぞりてきょうは万里ゆく つばさひろげてはばたかん  (2) 古きにたずね吹きかよう 新風おくる町づくり 枝をひろげし山崎の 木木の勢いを山川も ねがいてきょうは濁なき 水をあつめてことほがん  (3) 大きく夢をはずませて 名もなき草に町ぐるみ よせるふるさと山崎の 風土の支え人の和を あわせてきょうは力ある 自治の足並ととのえん	無し	制定時期 昭和57年9月26日  1. はるかにつらなる 山なみに 緑のいぶき みちあふれ ゆたかな恵み うけるまち あゝ ふるさと 波賀町 四季のよろこび うたいつ はげむ笑顔が 夢を呼ぶ  2. 大きくひらける 揖保川の うまれるところ 谷清く 正史にその名 のこるまち あゝ ふるさと 波賀町 遠い祖先を しのびつつ 結ぶ人の和 虹を呼ぶ  3. 静かなみずうみ 青い空 ほほえむ花に 風光り 希望の道が つづくまち あゝ ふるさと 波賀町 理想のあしたを 見つめつつ すすむ若さが 幸を呼ぶ	制定時期 平成8年4月12日  1 川添いの道をまがれば 山なみ霞み空青く はるかに三室が迎えてくれる みどり輝く山のまち ちくさちくさこのふるさとで わたしたちは生きいきと 未来をみつめる  2 たたら跡昔しので 小鳥や風の声を聞き 互いに語ろう希望の森を 歴史輝くひとのまち ちくさちくさこのふるさとで わたしたちは生きいきと こころ結ぶよ  3 高原に光あふれて 泉は清く草は萌え 千種の流れがきらめくところ いのち輝く水のまち ちくさちくさこのふるさとで わたしたちは生きいきと 夢を育てる	

現 況					具体的調整案
区 分	山 崎 町	一 宮 町	波 賀 町	千 種 町	
町民憲章	<p>制定時期 昭和43年9月24日</p> <p>1 人を敬い、教養を深め、文化の向上につとめましょう。 1 健康で、明るくたのしい家庭をつくりましょう。 1 善意と希望にみちたあたたかい秩序のある町をつくりましょう。 1 仕事によるこびと誇りをもって豊かな暮らしをきずきましよう。 1 深い愛情と理解をもって青少年の夢と希望を育てましよう。</p>	<p>制定時期 昭和51年9月6日</p> <p>1 人を尊び、善意と愛情にみちた住みよい町をつくります。 1 健康で働くことを喜び、豊かな暮らしをきずきます。 1 教養を深め、知性を磨き、文化の向上につとめます。 1 先輩を敬い、青少年の夢と希望をそだてます。 1 恵まれた自然とよき伝統を守り、郷土の発展につくします。</p>	<p>制定時期 昭和51年11月10日</p> <p>1 雄大な自然をたのしみ育てる町 1 なごやかに励まし助けあう町 1 体をきたえ仕事に誇りをもつ町 1 老人を敬い青少年を正しくはぐくむ町 1 教養を高め明るい家庭をつくる町</p>	<p>制定時期 昭和47年4月1日</p> <p>1 我が郷土の自然を誇りとし進んでこれを愛護します。 1 つねにあたたかい心をもって明るく人に接します。 1 いつも希望をもって働き生きがいのある生活をします。</p>	<p>新市発足後、新市のまちづくりの基本方針や理念を明文化した市民憲章を新市において定める。</p>